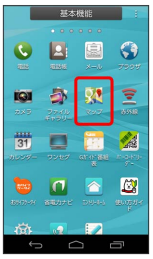
Google マップを利用する

Google マップでは、現在地の表示や目的地までの道案内などの機能を利用できます。交通状況を表示したり、航空写真で景色を確認することもできます。現在地の表示などでGPS機能を利用するには、あらかじめGPS機能を設定し、アカウントと同期の 位置情報の設定 で、 Googleアプリに位置情報へのアクセスを許可する を ON にしておいてください。

指定した場所の地図を表示する

1

ホーム画面で （シンプル） （アプリ一覧） （マップ）



マップ画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

3

住所や都市、施設名などを入力 選択候補から住所や都市、施設名などをタップ

指定した場所の地図が表示されます。

Google マップ利用時の操作

現在地を表示する

あらかじめGPS機能を設定し、位置情報へのアクセスを許可しておいてください。

マップ画面で

地図表示付近の便利な情報を取得する

マップ画面で 取得する情報をタップ 確認する情報をタップ

地図に渋滞情報や航空写真などを表示する

マップ画面で 表示する情報をタップ

目的地までの経路を調べる

目的地までの経路を検索できます。

マップ画面で 出発地／目的地を入力 （自動車）／ （公共交通機関）／ （徒歩） 経路を検索

・目的地までの経路の候補がリストに表示されます。

マップの詳しい操作を調べる

マップ画面で ヘルプ

・利用するアプリケーションの選択画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

⚠️ 地磁気センサーについてのご注意

方位計測への影響について

地磁気の弱い場所では方位計測に影響する場合があります。
また、方位計は地球の微小な磁場を感知して方位を算出しています。以下の場所では、計測の障害になったり、誤差が大きく発生したりする場合がありますので、それらがない場所に移動してから計測してください。
・建物（特に鉄筋コンクリート造り）
・大きな金属の物体（電車、自動車）
・高圧線、架線など
・金属（鉄製の机、ロッカーなど）
・家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）
・永久磁気（磁気ネックレスなど）

方位計測の精度への影響について

以下の場合は、方位計測の精度に影響を及ぼす恐れがありますので、「地磁気センサー感度補正」を行ってください。また、定期的に「地磁気センサー感度補正」を行うことをおすすめします。
・方位計の起動直後や、本機を強い磁力に近付けた場合
・急激な温度変化を伴う環境に長時間置いた場合
・本機が磁気を帯びた場合

地磁気センサーへの影響について

ACアダプタやmicroUSBケーブルなどを接続した場合、接続機器の磁気が影響し、地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。ケーブル類を外してご使用ください。

地磁気センサー感度補正について

「地磁気センサー感度補正」を行うときは、本体をしっかりと持ち、画面上にイラストで表示される動作をゆっくりと行ってください。補正が完了するまで、繰り返し実施してください。
「地磁気センサー感度補正」を行う環境や起動しているアプリケーションによっては補正に失敗する場合があります。その場合は、「地磁気センサー感度補正」を行う場所を変えるか、起動しているアプリケーションを終了させるなどしてからやり直してください。